



笹りんどう



日義小中学校 ホームページ QRコード



日義中学校閉校記念誌が完成 「花の都の空遠く」

～139年の歴史に感謝を捧げ学び舎との別れを惜しみ、地域との絆を未来へつなぐ感動のフィナーレ～

この度、閉校記念誌が完成しましたので、**日義地区の全家庭に（1世帯につき1冊）**お届けいたしました。本誌は、開校100周年記念誌の刊行から、今日に至るまでの39年間の歩みを中心に編纂しております。変遷する社会のなかにあっても、変わることなく地域とともに刻んできた歴史の重みを、改めて感じていただければ幸いです。

去る9月27日に挙行いたしました閉校記念行事では、「さみしさを、しっかりとした終わりへ」という思いのもと、参加者一同で輪をつくり、体育館いっぱいに校歌を響かせました。あの時、地域一丸となって胸に刻んだ感謝と誇りを、この一冊に凝縮いたしました。

地域の皆様の長年にわたる温かいご支援とご協力に、心より深く感謝申し上げます。日義中学校が皆様の心の中に、地域の誇りとしていつまでも生き続けることを願っております。

「ありがとう、みんなの日義中学校」

「日義の温かい心は、私たちの心の中に永遠に」

「われらの誇日義校」



小：6年生を送る会

3月10日（火）に、6年生を送る会が行われました。これまで学校を引っ張ってきた6年生に感謝の気持ちを伝えようと、各学年が応援団や劇、呼びかけ、リコーダー、漢字、歌の発表などを行いました。心が通い合う、笑いあり涙ありの温かな会となりました。6年生のみなさんが日義小学校での思い出を胸に、中学校でも活躍することを願っています。

小5：2年生に読み聞かせ

5年生は国語「もう一つの物語」の学習で、昔話やお気に入りの物語を選び、自分で想像をふくらませて登場人物やお話の内容を変えて、新しいお話づくりをしました。そして、完成した作品を2年生に読み聞かせしました。2年生は楽しいお話の展開に驚いたり笑ったりしながら、喜んで聞き入っていました。



中3：日義自治協議会会長さんとの懇談会

3月10日（火）、卒業を間近に控えた3年生が、日義自治協議会会長さんとの懇談会に参加しました。普段お世話になっている地域の組織（自治協議会）が、どんな願いをもって活動しているのかについての説明をしていただきました。生徒たちは生徒会の組織をイメージしながら真剣に聞いていました。後半は、「これからの日義をどんな町にしていきたいか」というテーマで語り合いました。住み慣れた日義のよさを再発見し、未来へ向かう活力をいただいた素晴らしい時間となりました。



中1：日本の伝統を着る

2月20日（金）中学2年生が家庭科の授業で「着物の着付け体験」を行いました。今回は和服の構造や歴史について学習を深めたあと、実際に着付けに挑戦しました。生徒の多くが「人生で初めて着物を着る」という経験でした。普段、着慣れた洋服とは全く違う帯の締め方や布の重なり、「思ったより手順が多くて難しい!」「帯を結ぶのが大変」と苦戦する場面もありましたが、お互いに教え合いながら一生懸命取り組んでいました。



小中：日義体育の日（最終回）

3月3日（火）、日義小中学校としての小中併設校の歴史を締めくくる最後の「日義体育」を行いました。入試を目前に控えた3年生を支えるべく、この日は2年生がリーダーシップを発揮してくれました。下級生を優しく、力強くリードする姿に、確かな成長が感じられました。縦割り班で行ったボール回しでは、学年を越えた笑顔が弾け、体育館に歓声が響き渡りました。日義小中学校のフィナーレにふさわしい、最高の時間となりました。



中3：五平餅づくり

2月27日（金）、中学3年生が家庭科の授業で「五平餅づくり」に挑戦しました。今年度、そして中学校生活の締めくくりとなる今回の実習では、地域の伝統料理をテーマに選びました。五平餅と言っても、その形やタレの味は千差万別。それぞれの家庭の味を楽しく話し合いながら、協力して作業を進めていきました。自分たちの手で作った出来立ての五平餅の味は格別で、あちこちから「おいしい!」「最高!」という声上がり、笑顔あふれる最後の授業となりました。慣れ親しんだ地元の味を自分たちで再現したことは、生徒たちにとって大切な思い出になったはずです。この経験を糧に、卒業後も地域の文化や食の豊かさを大切にしていってほしいと願っています。



小中：SOS 出し方講座

2月2日（月）にSOSの出し方の授業を行いました。今回は、「ストレスの解消法」をテーマに、スクールカウンセラーの先生にお話をいただきました。ストレスは、心が限界を迎える前から「自分らしくない自分」としてサインを出している。放置すると「警告・抵抗・疲憊（ひはい）」の段階を経て、心身の病気に繋がること。頭で考えるより先に、心拍や呼吸、体の痛みといった「からだの声（内受容感覚）」に耳を傾けることが大切であると教えていただきました。

